

本誌 2015 年 12 月号 (Vol.35 No.14) 訂正とお詫び

●京都大学大学院医学研究科放射線医学講座 (画像診断学・核医学) 坂田昭彦先生ご執筆「頭頸部」におきまして、p.1620 の症例 2 の下線部の説明が違っておりました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

<誤>

図 2 60 歳台, 女性 右下顎腫脹

A ~ C: 造影 CT (A) では, 右下顎骨の切除腔に軟部影を認める。MRI の T1 強調像 (B), T2 強調像 (C) で腫瘍の境界は不明瞭で, 不均一な信号を示している。背側で咬筋へと広がっているほか, 下顎部周囲の脂肪織に信号上昇を認める。対側と比し, 皮膚も肥厚している (→)。

<正> 下顎部周囲の脂肪織に信号低下を認める。

●倉敷中央病院放射線診断科 小山 貴先生ご執筆「病理」におきまして、p.1691 の左下から 1 行目の本文が違っておりました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

<誤>

また動脈瘤骨嚢腫にも *UPS6* 遺伝子の異常がみられ, 同様の性格を有する腫瘍の可能性がある⁵⁾。

<正>

また動脈瘤様骨嚢腫にも *UPS6* 遺伝子の異常がみられ, 同様の性格を有する腫瘍の可能性がある⁵⁾。